



若いときから健康を意識しよう！

## ユース議会のメンバーが健康意識の啓発を行いました

令和4年度のユース議会のメンバーが、1月8日に開催された「二十歳の成人式」にて、健康意識の向上を目的に啓発活動を行いました。

これは、ユース議会が提案した「トイレから健康意識向上シール事業」のPRを兼ねて行われたもので、提案したデザインを掲げ、参加者の記念撮影を手伝いながら、声掛けをしていました。

これまでの集大成を披露

## 演劇集団「夢ぶたい」がラスト公演

1月15日、演劇を通じて地域活性化に貢献してきた演劇集団「夢ぶたい」（齋藤千恵子代表）によるラスト公演が行われました。

立ち上げの際に目標としていた10周年を迎えたこと、新型コロナウイルスの感染状況などを踏まえ、実行委員会で話し合い、今回の3年ぶりの舞台公演「陽だまりのある場所」がラスト公演となりました。

ほぼ満席となった文化センターで行われた公演は、時に笑わせ、時に涙を誘う熱演で幕を閉じました。



豊作に期待

## 猿賀神社の七日堂大祭

1月28日、旧暦の1月7日に行われる伝統行事、猿賀神社の七日堂大祭が行われました。

大祭では、国の選択無形民俗文化財と県の無形民俗文化財に指定されている「柳からみ神事」が行われ、奉仕者の三上幹夫さんが4mの柳を打ち付け、枝のこぼれ具合で農作物の出来を占いました。その結果、2023年は「豊作」とのご託宣が出されました。

この後、境内では「ごまの餅まき神事」が行われ、集まった人たちが、無病息災のご利益があるとされる、ごま入りの紅白の餅をお守りとして拾っていました。

一夜限りの幻想的な景色

## 農家蔵ライトアップが行われました

1月28日、冬の恒例となった農家蔵のライトアップが行われました。

金屋地区の「蔵並み通り」で開催されたイベントでは、150基あまりの燈籠やろうそくが灯り、蔵がライトアップされました。

当日は、あいにくの大雪でしたが、幻想的な世界を作り出していました。

